



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月3日
東上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所
コード番号 9008 URL <https://www.keio.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 紅村 康
社長執行役員問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部経理部 (氏名) 上野 崇宏 (TEL) 042-337-3135
経理担当課長

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	59,111	△44.8	△12,538	—	△12,849	—	△10,725	—
2020年3月期第1四半期	106,997	△1.7	12,160	△5.2	11,993	△10.4	8,321	2.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △10,681百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 7,046百万円(△10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△87.84	—
2020年3月期第1四半期	68.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	923,789	359,347	38.9
2020年3月期	876,691	373,454	42.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 359,214百万円 2020年3月期 373,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	27.50	52.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当については、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、引き続き、未定としております。予想の開示が可能となり次第、すみやかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】10ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	128,550,830株	2020年3月期	128,550,830株
2021年3月期1Q	6,449,591株	2020年3月期	6,449,347株
2021年3月期1Q	122,101,392株	2020年3月期1Q	122,102,653株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想については、引き続き、配当予想とともに、未定としております。予想の開示が可能となり次第、すみやかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	106,997	59,111	△47,886	△44.8	433,669
連結営業利益又は 連結営業損失(△)	12,160	△12,538	△24,699	—	36,024
連結経常利益又は 連結経常損失(△)	11,993	△12,849	△24,842	—	34,684
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	8,321	△10,725	△19,046	—	17,875
連結E B I T D A	21,012	△3,916	△24,928	—	72,292
連結減価償却費	8,750	8,495	△255	△2.9	35,862

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益又は連結営業損失 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内個人消費が大幅に減少するなど、極めて厳しい状況となりました。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、持ち直しに向かうことが期待されますが、引き続き国内外の感染症の動向や経済環境の変動等を注視する必要があります。

当社グループの事業活動においても、訪日外国人旅行者の減少や外出自粛に加え、緊急事態宣言に伴う営業時間短縮や休業等の実施などにより大きな影響を受けました。当社グループは社会インフラを担う企業グループとして、お客様の健康や安全な暮らしを守り、日常生活を支えることを使命と捉え、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、鉄道をはじめとした事業の継続に努めました。

これらの結果、連結営業収益は、その他業を除く各セグメントで減収となり、591億1千1百万円(前年同期比44.8%減)、連結営業損失は125億3千8百万円となりました。連結経常損失は128億4千9百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は107億2千5百万円となりました。

なお、連結E B I T D Aは、△39億1千6百万円となりました。

また、連結減価償却費は、84億9千5百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

②当第1四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益又は営業損失(△)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	33,502	17,578	△47.5	6,014	△7,618	—
流通業	41,491	24,317	△41.4	1,577	△1,435	—
不動産業	10,109	8,981	△11.2	2,599	2,312	△11.0
レジャー・サービス業	18,387	3,434	△81.3	1,398	△6,227	—
その他業	10,913	11,375	4.2	503	393	△21.9
計	114,404	65,688	△42.6	12,092	△12,574	—
連結修正	△7,406	△6,576	—	67	36	△46.8
連結	106,997	59,111	△44.8	12,160	△12,538	—

(運輸業)

鉄道事業では、外出自粛等の影響により、旅客運輸収入が48.0%減(うち定期33.4%減、定期外59.3%減)となりました。また、バス事業においても、路線・高速などで減収となりました。これらの結果、営業収益は175億7千8百万円(前年同期比47.5%減)、営業損失は76億1千8百万円となりました。

(流通業)

百貨店業およびショッピングセンター事業では、営業時間短縮や休業の実施に加え、外出自粛の影響などにより減収となりました。また、ストア業では、スーパーマーケット事業で増収となったものの、コンビニ・売店事業において営業時間短縮や休業を実施したことなどにより減収となりました。これらの結果、営業収益は243億1千7百万円(前年同期比41.4%減)、営業損失は14億3千5百万円となりました。

(不動産業)

不動産賃貸業では、前年度に取得した物件の寄与などがあったものの、店舗や施設において営業時間短縮や休業を実施したことに加え、外出自粛の影響などにより減収となりました。また、不動産販売業では、投資用マンションやリノベーション物件の売上減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は89億8千1百万円(前年同期比11.2%減)、営業利益は23億1千2百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

(レジャー・サービス業)

ホテル業では、2020年4月に株式会社高山グリーンホテルを子会社化し、6月に新館「桜凜閣」が開業したものの、訪日外国人旅行客の減少や外出自粛の影響に加え、一部店舗や施設において営業時間短縮や休業を実施したことなどにより減収となりました。旅行業では、営業時間短縮や休業の実施に加え、外出自粛の影響などにより減収となりました。広告代理業では、受注減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は34億3千4百万円(前年同期比81.3%減)、営業損失は62億2千7百万円となりました。

(その他業)

建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。また、ビル総合管理業では、メンテナンス業務の受注増などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は113億7千5百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は粗利益の減少などにより3億9千3百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

[鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	105,165	63,578	△39.5
	定期外	〃	70,125	29,668	△57.7
	計	〃	175,290	93,246	△46.8
旅客運輸収入	定期	百万円	9,169	6,105	△33.4
	定期外	〃	11,817	4,810	△59.3
	計	〃	20,987	10,916	△48.0

[業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	21,986	11,660	△47.0	84,848
	バス事業	9,259	5,233	△43.5	36,222
	タクシー業	3,041	1,597	△47.5	12,133
	その他	616	452	△26.5	2,557
	消去	△1,400	△1,365	—	△6,101
	営業収益	33,502	17,578	△47.5	129,659
	営業利益又は営業損失(△)	6,014	△7,618	—	13,345
流通業	百貨店業	22,380	7,198	△67.8	84,768
	ストア業	12,604	12,327	△2.2	51,166
	書籍販売業	1,477	1,422	△3.7	6,089
	ショッピングセンター事業	3,650	2,788	△23.6	14,612
	その他	2,992	1,890	△36.8	11,883
	消去	△1,614	△1,308	—	△6,340
	営業収益	41,491	24,317	△41.4	162,180
	営業利益又は営業損失(△)	1,577	△1,435	—	4,400
不動産業	不動産賃貸業	9,156	9,056	△1.1	36,973
	不動産販売業	4,277	2,255	△47.3	17,246
	その他	656	390	△40.6	2,799
	消去	△3,981	△2,720	—	△11,686
	営業収益	10,109	8,981	△11.2	45,333
	営業利益又は営業損失(△)	2,599	2,312	△11.0	9,199
レジャー・サービス業	ホテル業	13,771	3,788	△72.5	52,814
	旅行業	3,171	285	△91.0	13,186
	広告代理業	2,370	1,417	△40.2	13,162
	その他	1,768	700	△60.4	6,377
	消去	△2,693	△2,756	—	△11,451
	営業収益	18,387	3,434	△81.3	74,088
	営業利益又は営業損失(△)	1,398	△6,227	—	4,343
その他業	ビル総合管理業	5,334	5,495	3.0	27,070
	車両整備業	1,561	1,436	△8.1	10,691
	建築・土木業	2,380	2,742	15.2	22,670
	その他	2,131	2,088	△2.0	8,924
	消去	△495	△386	—	△2,322
	営業収益	10,913	11,375	4.2	67,035
	営業利益又は営業損失(△)	503	393	△21.9	5,759

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額
総資産	876,691	923,789	47,098
負債	503,236	564,442	61,205
純資産	373,454	359,347	△14,107
負債及び純資産	876,691	923,789	47,098
有利子負債	329,501	414,887	85,386

(注)有利子負債は、借入金 + コマーシャル・ペーパー + 社債により算出しております。

当第1四半期連結会計期間の総資産は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する場合にも、事業の安定的な運営を継続するため、手元資金を拡充したことなどにより470億9千8百万円増加し、9,237億8千9百万円となりました。

負債は、社債の発行や借入金の増加などにより612億5百万円増加し、5,644億4千2百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより141億7百万円減少し、3,593億4千7百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間の有利子負債は4,148億8千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、引き続き、配当予想とともに、未定としております。予想の開示が可能となり次第、すみやかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,979	94,508
受取手形及び売掛金	35,249	21,010
有価証券	2,000	—
商品及び製品	11,086	12,001
仕掛品	25,640	24,842
原材料及び貯蔵品	2,246	2,248
その他	8,949	10,458
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	125,142	165,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	344,392	341,998
土地	231,165	233,389
建設仮勘定	36,304	38,599
その他（純額）	48,269	46,674
有形固定資産合計	660,131	660,661
無形固定資産	13,340	14,167
投資その他の資産		
投資有価証券	48,169	49,032
その他	30,044	35,006
貸倒引当金	△138	△138
投資その他の資産合計	78,076	83,901
固定資産合計	751,548	758,730
資産合計	876,691	923,789

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,619	11,996
短期借入金	70,606	91,166
未払法人税等	5,640	1,103
引当金	4,544	4,080
その他	85,300	82,422
流動負債合計	182,712	190,770
固定負債		
社債	130,000	170,000
長期借入金	128,894	139,723
退職給付に係る負債	21,713	23,869
その他	39,916	40,079
固定負債合計	320,524	373,671
負債合計	503,236	564,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,012	42,012
利益剰余金	286,271	272,189
自己株式	△19,552	△19,554
株主資本合計	367,755	353,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,052	5,697
為替換算調整勘定	3	3
退職給付に係る調整累計額	360	△157
その他の包括利益累計額合計	5,416	5,543
非支配株主持分	282	132
純資産合計	373,454	359,347
負債純資産合計	876,691	923,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業収益	106,997	59,111
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	82,511	60,089
販売費及び一般管理費	12,325	11,560
営業費合計	94,836	71,650
営業利益又は営業損失(△)	12,160	△12,538
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	636	661
持分法による投資利益	17	—
雑収入	184	234
営業外収益合計	844	900
営業外費用		
支払利息	793	757
持分法による投資損失	—	141
雑支出	217	313
営業外費用合計	1,011	1,211
経常利益又は経常損失(△)	11,993	△12,849
特別利益		
退職給付制度改定益	—	1,748
工事負担金等受入額	28	59
その他	1,704	85
特別利益合計	1,733	1,893
特別損失		
退店補償金	4	212
固定資産除却損	168	172
投資有価証券評価損	40	144
固定資産圧縮損	26	59
その他	163	101
特別損失合計	403	691
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	13,323	△11,646
法人税等	5,009	△837
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,314	△10,808
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△83
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	8,321	△10,725

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,314	△10,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,118	645
退職給付に係る調整額	△144	△517
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△0
その他の包括利益合計	△1,267	126
四半期包括利益	7,046	△10,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,053	△10,598
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	33,502	41,491	10,109	18,387	10,913	114,404	△7,406	106,997
セグメント利益	6,014	1,577	2,599	1,398	503	12,092	67	12,160

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	17,578	24,317	8,981	3,434	11,375	65,688	△6,576	59,111
セグメント利益 又は損失 (△)	△7,618	△1,435	2,312	△6,227	393	△12,574	36	△12,538

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。